

2004年



- 1月 10日 第27号AAAニュースレター発行、ウガンダ共和国から発送!
27日 第4回医療巡回隊 出発 参加者14名ウガンダを訪問
- 2月 7日 医療巡回隊帰国
9日 ドミニカ共和国向けコンテナ出荷
20日 衣類整理箱詰ボランティア
- 3月 9日 衣類整理箱詰ボランティア
18日 東松山ロータリークラブ卓話
講師山崎純子、渡辺茂、佐津川守道、田口帰一派遣
20日 衣類整理箱詰ボランティア
25日 ~28日 第1回おたすけ隊ネットに参加「写真展第4回アフリカおたすけ隊」
- 4月 9日 10時~12時衣類整理箱詰ボランティア
参加者:山崎純子、榎本日佐子、山崎毅史、阿部雅哉、阿部裕也、北山冴香、北山葵、北山功三の皆さんでした。
12日 18時30分 浦和イブニングロータリークラブ現地報告
「スリランカとウガンダの現状」山崎城之顧問 山崎毅史事業部長就任挨拶
アルバムはCANON image GATEWAYにて作成しました
浦和イブニングロータリークラブ UERC紹介頁
15日 9時~15時ドミニカ共和国向けコンテナ出荷、箱779個、袋193個を積み込みました。
急遽積み込みが決まったため作業人数が少なく参加者の皆さん本当にご苦労様でした。お身体大切にしてください!
積込参加者:山崎純子、山崎城之、榎本日佐子、田口敏子、ヘンリー・オミール・オジュワン、山崎毅史以上の皆様でした。
作業中に所沢中央、川越、深谷、狭山中央、各ロータリークラブから届きました。
20日 10時~12時衣類整理箱詰ボランティア 当日は快晴に恵まれ、6月の暑さ気温26度を記録大汗をかいての作業でした。
参加者:山崎純子、山崎栄慈、榎本日佐子、山崎智子、渡辺福子、松本綾子、山崎毅史、山崎城之、山崎拓人、山崎理人、北山功三の皆さんでした。
作業中に新座ロータリークラブから20箱持ち込みがありました。
21日 カンボジア向けコンテナ積み込み
第2回視察団アルバムはCANON image GATEWAYにて作成しました
山形県米沢市川西町立川西第1中学校修学旅行現地で「体験学習」ボランティア体験で1班30名が校長先生、引率の先生と共に来所、初めてのコンテナ積み込み体験、初めは戸惑いながらであったが、仕事内容を呑込むと、その実行力は大人顔負けの素晴らしい成果を!9時30分から始まって11時には完載。
横浜港に向かうコンテナを感動のうちに見送った。その後AAAフォーラム、田中親男先生の現地の親子と兄弟の話、ケニア人オミール・オジュワンさんのお礼の話、ウガンダから帰国早々の渡辺茂さんの「百聞は一見に如かず、百見は一労作に如かず」のお話、AAA山崎城之顧問のグローバルリサイクル活動と題して大切な資源の使い方の話、AAA山崎純子代表の現地の実情などの話を聞いていただいた。生徒の皆さんの感想をお聞きしたかったのですが、修学旅行中の事で時間に制限があってお聞きする事ができませんでした。後日メールで送って下さる事を期待しています。
特記!今回の生徒さんたちはピアニカを昨年来送ってくれていたという事で、スタッフ一同感激でした。
更に今回の修学旅行では班別行動を実施、上野駅付近の清掃班などもあったそうです。
22日 東北電力衣類集中搬入日
- 5月 9日 10時~12時衣類整理箱詰ボランティア
参加者:松本綾子、渡辺福子、富田笑子、榎本日佐子、野口裕子、高木義昭、

- 山崎栄慈、山崎智子、山崎毅史、山崎拓人、山崎理人、北山冴香、北山葵、北山功三の皆さんでした。
- 11日 衣類整理箱詰ボランティアチーム浦和8人で70個箱詰め
田口帰一、田口敏子、伊掛、寺沢、佐藤良子、柿沼実根子、庄田、渡辺薫子の皆さん
- 12日 9時～15時ドミニカ共和国向けコンテナ出荷、箱779個、袋193個を積み込みました。急遽積み込みが決まったため作業人数が少なく参加者の皆さん本当にご喜勞様でした。お身体大切にしてください!
積込参加者:山崎純子、山崎城之、榎本日佐子、田口敏子、ヘンリー・オミール・オジュワン、山崎毅史以上の皆様でした。
作業中に所沢中央、川越、深谷、狭山中央、各ロータリークラブから届きました。
- 15日 衣類整理箱詰ボランティアチーム浦和7人
田口帰一、田口敏子、佐藤良子、草野、戸沢、山崎、渡辺薫子の皆さん。
- 28日 衣類整理箱詰ボランティアチーム浦和
田口帰一、田口敏子、伊掛、寺沢、佐藤良子、柿沼実根子、榎本、山崎智子、山崎理人の皆さん。
- 29日 ドミニカ向け衣料タイムリー配布!
5月下旬にドミニカ共和国でおきた豪雨と洪水による災害でAAAから送った衣料が現地滞在中の白石サキ子さんの手によって災害現場付近のキリスト教会へ届けられました。わずか40分足らずの集中豪雨でおきた洪水が約三百世帯の村を襲い、死者は2400人～2600人にのぼったそうです。洪水後の疫病の心配などはないそうです。

6月

AAAニュース

巻頭言「大統領と会える事に成った」。緊急の用事でウガンダに電話を入れた時に「今、メールを書いていたところです」と現地ダイレクターからの興奮した声だった。私たち(AAA顧問と代表)が一時帰国したのは、EMの実験農場が35,000坪と15,000坪に決まり、EMが実際にその農場で成果の上がったのを見計らって、再度ウガンダ入りして、副大統領などにお会いして、ウガンダ全土でEMを使ってもらう話をするはずであった。5月1日はメーデー。ウガンダでは、政府を挙げての労働者の祭典であった。労働省の主催で各県の会場で行われる。今年はマサカ県会場にムセベニ大統領が来る事になった。急遽出席した私たちのために、県知事が顧問と代表の招待状を追加し用意してくれた。主催者労働大臣からであった。しかもAAA-Uはその成果を発表する場として、県政府関係者と共に会場に出展すると言う光栄をいただいたのである。この出展には、私たちの活動の推進者ポキノ氏が全てを準備してくれた。式典で県知事挨拶の中でAAA-Uが紹介され、大統領初め多くの来賓から沢山の拍手をいただいた。大統領は各ブースを視察、我がブースではことのほか興味を示され立ち寄り時間が長かった。大統領には以前にもお会いしている。救急車の贈呈をした事、その時の写真を見てもらった。直ぐに思いだしてくれ、感嘆の声を上げ、固い握手を…ビジターズブックに ARIGATO-OKINIとかかれ、英語、ウガンダ語、ニャンコレ語でいづれも丁寧語で有難うございます。と署名してくれた。

(詳細は本文参照)

「先ずはウガンダに常駐して人々のために命を懸ける」と誓ってウガンダ入りした山崎敬充ダイレクターに神のご加護があった。何もしてあげられない団体責任者としては、親なる神様に心からの感謝を捧げ、小さな救援ではあるが少しずつでも永く切続ける事が地域の人々に本当に役立ち喜ばれる大きさを再確認すると共に、日本国内で地道にコツコツと支援して下さっているメンバーはじめ多くの皆様のお力添えに心から感謝を申し上げます。有り難うございます。

合掌

AAAニュースレター「地球家族のたすけあい」第28号-2 2004/6/10発行

○国内報告

◎まごころが全国から

・国際ロータリークラブ2570地区57クラブ一手に

活動アルバムCANON image GATEWAYにて作成しました

地区ガバナー事務所からの要請に応じて、坂戸市の事務所にて、山崎純子代表がAAAグローバルリサイクル活動について説明、事務局の検討の後、橋本委員長がAAA本部と倉庫を視察、詳細に渡る打ち合わせが行われ、箱をロータリークラブ名入、企画箱寸法で百サイズを特別誂えて各クラブに配布され実動へと始動した。2570地区内のプロッ

ククラブの本庄へ代表並びに事務局長が、東松山には山崎代表、田口業務部長、佐津川、渡辺両ESが現地の実情などをお話した。まごころと共に詰め込まれた衣類がAAA倉庫を埋め尽くした。

宅急便、郵パック・・・、それぞれ地元の運送屋さん、ロータリアンが直接持ち込むところもあった。

・東北電力到着日指定4月22日で全支店から

AAAのグローバルリサイクル活動に参加する事で使わなくなったユニホームを地球規模で活かす。

東北電力の一担当者の真実誠が全東北電力を動かした。4月22日には倉庫で待機しますと言う私どもの都合に応じて、各地の支店からおおよそ300箱のまごころ衣類が送られてきました。

コンテナ出荷報告

・ドミニカ共和国

2月9日・4月15日・5月12日出荷

・スリランカ社会主義民主共和国

AAAスリランカコーディネーターのスガッスさんのコンテナに混載100箱出荷。

・カンボジア王国

4月21日

20フィートコンテナ混載内容：畳大57枚、小17枚、段ボール170個、ロータリー箱536個、袋120個積込参加者：山崎毅史、オミール・オジュワン、山崎純子、榎本日佐子、

田口敏子、山崎城之、山崎智子、山崎拓人、山崎理人、渡辺 茂、山形県米沢市川西町立川西第一中学校修学旅行、現地で「ボランティア体験」1班30名が校長先生、引率の先生と共に来所、初めてのコンテナ積み込み体験をした。

カンボジア王国首都プノンペンでオリガミスクールを運営する『蓮の会』の田中親男さんも早くから積み込みに参加、又ロータリークラブ2570地区の橋本さんと野原さんも参加。田中さんはオリガミスクールに隣接して柔道場を開設する畳、全国から寄せられた衣類を混載した。はじめは戸惑いながらであったが、仕事内容を呑込むと、その実行力は大人顔負けの素晴らしい成果を9時30分から始まって11時には完載。尊い汗と共に積込まれたまごころの物資が生徒たちに見送られて横浜港に向けてコンテナが発車した。

AAA特別フォーラム

・山形県修学旅行生AAA本部で

旅程の関係で12時30分には現場出発になっているため、昼食をせずにフォーラムを開催

田中親男先生の現地の子と兄弟の話、ケニア人オミール・オジュワンさんのお礼の話、ウガンダから帰国早々の渡辺茂さんの「百聞は一見に如かず、百見は一労作に如かず」のお話、AAA山城之顧問のグローバルリサイクル活動と題して大切な資源の使い方の話、AAA山崎純子代表の現地の実情など聞いていただいた。

生徒の皆さんの感想をお聞きしたかったのですが、修学旅行中の事で時間に制限があつてお聞きする事ができませんでした。後日メールで送って下さる事を期待しています。特記!今回の生徒さんたちはピアノを昨年来送ってくれていたという事で、スタッフ一同感激でした。

更に今回の修学旅行では班別行動を実施、上野駅付近の清掃班などもあったそうです。

JTB山形から電話があつたのは、昨年の事でした。修学旅行の生徒たちの総合学習の一環として、旅行先でボランティアに参加する計画があるのですが、受け入れていただけますか?この問い合わせにAAAスタッフは二つ返事で快く受け入れについてお答えし実現した。

衣類整理箱詰めボランティア

◎チーム浦和

チーム浦和を率先垂範で率いてきた田口帰一業務部長が初めてのアフリカを体験。

家族揃ってアフリカ救援に関わって二〇余年、全国から集まる衣類、衣類整理ボランティアにとまごころを尽くされAAAの活動の一端を支えて下さるまごころの皆様を代表して、心臓や腰の手術など厳しい身体を押しての「命懸真剣」の決意のもと第四回アフリカおたすけ隊に参加され現地の実情を体感された。

チーム浦和のメンバー田口帰一、田口敏子、あや、柿沼美根子、寺沢久代、寺沢、渡辺、比留間清、長野美根、中島ますみ、佐藤良子、草野、小柳、鈴木和子、公佳、高橋正夫、

吉田美幸、上田道野、喜田栓子、比留間清、庄田、小柳、中島ますみ、彩、松戸良夫、岩井、高橋愛子、石川、高木、阿部、栗原、伊掛の皆さん。

活動日

【1月】 10日／11日／12日／13日／15日／23日

【2月】 10日／11日／13日／14日／23日

【3月】 10日／11日／13日／28日

【4月】 10日／11日／28日／5月11日／15日／28日

◎チームつめるやん(定例7日と20日)

6月までは9日ですが7月から7日も行います。

チームつめるやんやんのメンバー山崎純子、中里睦子、渡辺福子、松本綾子、飯田教子、富田笑子、浅井茂登子、田中久夫、田中みどり、野口裕子、高木義昭、吉田 鼎、吉田照子・田中やす子、高野美江、本間祥郎、山崎城之、榎本日佐子、山崎栄慈、山崎毅史、山崎智子、阿部誠也、阿部時也、北山冴香、山崎拓人、山崎理人、北山葵、北山功三の皆さん。

活動日

【2月】 9日／20日

【3月】 9日／20日

【4月】 9日／20日

【5月】 9日／20日

出張フォーラム

●4月12日 浦和イブニングロータリークラブは自転車の回収と海外贈呈を継続的に支援して頂いており、その報告「スリランカとウガンダの現状」山崎城之顧問、山崎毅史事業部長新任挨拶をさせていただきました。

●3月18日東松山ロータリークラブにて(前述)

・第四回おたすけ隊(医療巡回隊)

1月27日～2月7日 参加者14名ウガンダを訪問。カンパラ、ワカギカラテアカデミーへ到着。生徒たちの歓声に迎えられて感動の到着。練習を見学、続いて参加隊員有志による雅楽の演奏。スポーツと音楽を通して素晴らしい国際交流、親交を温めた。カンパラで一泊して、AAA—U本部ナプトンガ村へカルングヘルスセンター医薬品贈呈、視察。カロンゴ村医療巡回、ナプトンガ村医療巡回、此所では医薬品の贈呈、眼鏡の贈呈も行われた。カロケロ小学校にてピアノカ贈呈、マサカ県庁にLC5(県知事)を表敬訪問。知事から過去に行われたAAA—Uの活動実績に対するお礼とまたこの度からはEM技術を活用した農業支援に対するお礼と期待が述べられた。

医療巡回隊の特記事項として、参加者の内、天理教のよふぼく(天理教でその教えにふれ、更に別席(17歳以上なら誰でも)を運んで人を助けるために使われるおさづけの理(宝)を戴いた人)といわれる方が多く、その方々は医療巡回先はもちろんのこと、赤道直下の道路端などで、病人を見ると「おさづけ」を取り次ぐ、病院でも入院患者に次から次へと取り次ぐなど、その場で病人が鮮やかに治る。おさづけを取次ぐ人の前には長蛇の列ができた。よふぼくの人に聞いたところ併せて千人以上の方々に取次がれたと語った。

AAA事業部長に山崎毅史さん就任、

本部事務所の移転、本部前の小川さんのご協力でのEM畑の実験開始、全国から送られてくるまごころの衣類で倉庫が満杯、年が明けてから嬉しい悲鳴の毎日超本気で取り組む。

山崎毅史就任挨拶

皆様方には常日頃からAAAの活動に真心をお寄せ頂きまして誠にありがとうございます。この度、事業部長としてAAAの活動をさせて頂く事になりました山崎毅史です。

いつもご迷惑ばかりおかけ致しておりますが、今後の活動において事業部長として多くの方により活動し易い場を提供出来ますよう、また、皆様方の真心を世界の人々へしっかりとお伝え出来るように努めさせて頂きたいと思っております。そしてまた思うだけでなくAAAの基本方針であります『本気・やる気・勇気・根気・元気・朝起き・正直・働き』の八つの心の苗木を心に持って行動させて頂きますのでどうぞ宜しくお願い致します。

AAAニューズレター「地球家族のたすけあい」第28号-3 2004/6/10発行

○現地報告

◎ドミニカから 大洪水発生！

5月26日ニュービジョンに掲載

ドミニカ共和国で大洪水発生!ウガンダの新聞ニュービジョンに掲載された。

時を同じくして、本部にドミニカ共和国AAAドミニカのコーディネーター白石さんから緊急情報が入る。「前々回送った衣類は、たまたま到着していたのでそちらに回した」とのこと、その後送った衣類も到着次第緊急救援に間に合わしていただくことを依頼した。

◎ウガンダから NGO登録完了

現地常駐活動が停滞していたため遅れていたAAA—UのNGO登録が五月一二日ようやく書類が届きました。

ジャスティン・バカヤナさん逝去

ウガンダ活動のAAAとの架け橋となっているバカヤナ・キチョーさん(現イタリア大使)のご夫人ジャスティン・バカヤナさんが赴任先のイタリアで急性肺炎のため突然亡くされました。本葬儀はイタリアで行われたが、ご遺体で帰国。ウガンダ国内関係者三千人を超える人々に送られ埋葬式が厳かに2月4日エンテベで行われました。

AAAからはおたすけ隊活動日と重なったため、代表と顧問、通訳として高野美江さんが参列しました。日を改めておたすけ隊の皆さんも揃って墓参をさせていただきました。

◎5月1日メーデーに招待出展

ムセベニ大統領と固い握手を

午前3時頃から雨が降っていた。7時30分には出発を予定していたが直前に前輪左のタイヤがパンクしている。至急で交換して出発は8時になってしまった。大慌てで会場へ、会場ではポキノ氏ご夫妻が一生懸命展示作業をしていた。

展示がすむと一度会場を出てセキュリティチェックをしてから再度入場という、カメラは持ち込めない、翻訳機もだめ電子製品は全てだめ。大統領へのお土産は、チェックに引っかからないようにそっと会つと会場に置いた。

雨の中、外で待つ事30分、丸腰でチェックゲートを通り再入場。ブースに大統領秘書なる方が見えてお土産を預かると、「直接渡したい」と申し出たら「その時は持ってくる」という丁寧な捧げように持って行った。写真は是非必要、報道関係者にしっかり撮ってもらおうようポキノさんに頼んでもらった。準備中にLC五(センピジャさん)が挨拶に来てくれた。副RDCも来てくれた。わざわざ日本から来てくれた事を本当に喜んでくれてるのが頼づりの時に体感された。

展示会場で大統領をお迎えして説明をする。大統領の気分と予定次第ではす一つと通ってしまう場合もあり得る。式典終了後に全展示場所を視察するとの連絡があった。軍隊、司法関係の警護隊、警察隊、自警団、音楽隊に合わせての行進、会場外で10台くらいのボータボータの人たちが行列で快音を発して走り去った。間もなく黒塗りのベンツが会場に入る、大統領が到着。全員直立不動の姿勢でお出迎え!遠くから私たちも準じた。大統領を中心に左に労働大臣、右に一人中央政府関係者、RDC(政府派遣のマサカ県知事)、LC五(選挙で選ばれたマサカ県知事、センピジャさん)、キリスト教司祭、イスラム教の牧師とならんでいる。その周りは各界のお偉方が順序よく並んで腰掛けている。大統領の到着を待って式典が始まる。

国歌斉唱、お祈り、大統領閱兵、順次閱兵したその足で、ブースへも来られる。が、私たちの二つ手前で、席に戻ってしまった。?????

各界下の方から挨拶が始まる。挨拶に入る前に全員が来賓の一人一人名前を言って敬意を表するので、長い事になる。

途中でセンピジャさんから合図があつて私たちは、来賓席に案内された。マサカ県に貢献しているNGOの席だった。エイズに取り組み多額の寄付をしている団体のその後が私たちだった。

センピジャさんは人の心を喜ばせる演説で、長さを感じさせない。その挨拶の中で私たちAAAアジア&アフリカも名を呼ばれた。立って両手を大きく上げてアピールした。大統領初め多くの方々から拍手がわいた。

続いて大統領の演説、大統領はニャンコロ語の地域出身、マサカはブガンダ語、似たような言葉だがまあ大阪弁と青森弁みたいなもので、思い出しながらみんなに聞きながらの演説は、観衆の心を引いていた。最後のまとめは英語で...

炎天下で式典は長々と続いた。

私はお小水が我慢できず困窮した。演説途中で抜け出られないVIP席だからだ。最後に国歌斉唱、全員起立、それを潮に抜け出そうとしたがこれもままならず必死でこらえた。式が終わった。もうだめだ!あわてて席を立ったが、トイレがない!

必死でこらえて、我がブースへ、その裏で…我慢しかったので長い、終わってブースに入ると大統領が左のブースから視察を開始していた。良かった間に合った。秘書がお土産を捧げ持ってきた。用意してあるビクターズブックにサインを戴く準備、どの場所で説明しようか等々ブースの中は慌ただしく落ち着かない雰囲気。大統領が来た! 私たちは即座にお土産を、アルバムを、そこで瞬間的にアルバムは開いて見てもらった。あの時の救急車の贈呈式の写真を…大統領は「おお!」と言って手を差し伸べられた。固い固い握手を! 続いてビクターズブックにサインを求めた。ローマ字でARIGATO-OOKINI(アリガトオオキニ)と書かれ大統領署名を更に、Thank you very much(非常に有り難うございました 英語)、Mwebare nnyo(ムウェブアレニョ『ブガンダ語で複数の方に対して有り難うございますの意』) 大統領はニヤンコレ語の地域の出身)と、それぞれ丁寧語でAAAを支援して下さっている多数の方々への気持ちを込めて記してくれた。更に手を差し伸べられ、私と代表とダイレクターと美江さんとポキノさんご夫妻に次々と握手をされた。急いでいるとはいえ、EMを使ってできた作物との違いを見てもらい、十分に私たちのまごころを伝える事ができてポキノ氏ご夫妻も非常に喜んでくれた。

・きりなしふしんのセンター建設

敷地境界にバラ線の塀が張り巡らされました。お陰で牛や山羊の侵入を防ぐことができ、EM畑が充実しています。スタッフ用のトイレが使えるようになり、研修棟の一部工事が始まりました

・センターのEM実験農場

EM希釈液で黒土に変わりつつある土壤改良、先ずはトマト、小松菜、里芋、芋、ジャガイモ、豆、トウモロコシ、バナナ、パイナップルなど実りが楽しみです。小松菜はおいしくいただいています。

・ポキノ農場 EM使用畑との比較栽培、牛、山羊、鶏、豚など家畜もEM活用飼育に取り組む。県及び国の試験官が視察、今少し詳しいデータを記録し報告するように指示があり公共試験場でもEMを実験することになる。

・センピジャ農場 豚の飼育にEMぼかし餌を実験、希釈液を散布し臭いが少なくなる。

・各地でEMセミナー

センターで

3月28日AAA—U研修センターで第1回EMデモンストレーション研修会を開催、参加者は30名、ポキノさんがEM効果についてポキノ農場に於ける実績を話した後、ぼかしの作り方、EM活性液の作り方を実務指導、村長のムテビさんが自らの体験を通して牛の餌にEMぼかしを使った効果50%増の乳が搾れた事を披露した。セミナー終了後に自分たちも使ってみたいという希望が多かったので、少しずつ実験するようにはかしくと活性液を配布した。

ントウンガモで

ナイロビ空港でハプニングが起きた。夫婦2人での飛行は初めて、しかもおなじみのケニアで、予定の飛行機が待機しているにも関わらず乗れないと言う。理由は荷物のオーバ分を徴収すると言うのだ、今までに全くない事なので????そこにガーナとウガンダのお二人が日本語で事の次第を教えてくれた。有り難かった。遅れたフライト時間を利用してEMIについて話をさせて頂いた。私たちの村に是非来て下さい。と言って分かれた。一月中頃彼は訊ね訊ねて我がAAA—Uセンターにやってきた。英文のEMパンフレットを渡す、ぼかし作りを見てもらった。その後彼から連絡が入り是非ントウンガモに来て欲しいとの要請に応じて、2月12日~14日実施した。初日は農業委員会の委員に対して説明、翌日はフランスさんの各学校にて物資の贈呈式に参加要請に応じて。最終日はヤギの飼育研究所になっている施設で、ポキノ氏の通訳でEMの説明、ぼかし、活性液の作り方、EMIはバクテリアであるから人の心の優しさで育てる事が大切と私たちAAA—Uの思いを的確に委員たちに伝えてくれた。農業委員の熱い見送りに答えながらトウンガモを後にした。

キグングで

2月21日NGO「DOJYO」の五十嵐さんが活動している現場、サムさんの家を会場にデモンストレーションEMセミナーを開催、参加者15名ポキノさんがEM効果について

ポキノ農場に於ける実績を話した後、ぼかしの作り方、EM活性液の作り方を実務指導、セミナー終了後、実際に作ったぼかしを利用するように置いてきた。

編集後記

◎暑いお正月を迎え、2月に帰国しましたが、4月末日再度ウガンダに来ております。日本では四季がありますがこちらは相変わらずの気候です。私たちが日本にいたる間雨季だったとの事で、三つのドラム缶に溜めた雨水で生活しておったとの事、来た時はドラム缶にたまった水をジェリカンに移し、まだドラム缶にマンタン状態でしたが、来て17日目、今日は井戸に水汲みに行く作業があります。畑では小松菜を楽しみにしながら食べさせていただいています。花が咲いたら次の種が採れると良いな〜と願っています。何せ畑体験の無い者たちが本を見ながらの栽培ですので、専門家には笑われそうですが…

カリングへ通じる道(いつも工事用の水を汲む)が増水で歩いている人はゴメス(女性の正装)の裾をたくし上げてそろそろと歩いています。土管は穴が開いているし、早く修理をしないと村長さんに連絡をしているのですが、こちらカンパラへ出ていたりなかなか話が進みません。この道は毎年医薬品を援助したり、医療巡回をしたりしているカリングヘルスセンターへ行く道。その先は首都カンパラへ出るマサカ道路への道なので村人たちにとって、私たちにとって重要な道なのです。この村にいますから何とか少しでもお役に立ちたいと考えております。最近、人間は環境が違ったところでも同じ事を考え感じると言う事をつくづく思います。ということは、見ざる、言わざる、聞かざるの木彫りの猿がこちらにもあります。

日本だけのことわざとっておりましたので、浅学な私にはびっくり。そう言えばこれはウガンダだけでなくケニアにもモザンビークでも見かけました。他にも何気なく見過ごしてしまっていると言う事が、沢山あるのではないかと、精一杯の毎日ではなく、ウカーツとした日々を送っている事を反省しております。暑くなって行く日本でご協力いただいているまごころのボランティアの皆様本当にご苦労様です。引き続きどうぞよろしくお願い致します(純子)

◎皆様のまごころで全国各地のたくさんの方々から応援してくれておりますこちらの対応が後手後手にまわり、大変申し訳ないことで今事務局を大改革してくれておりますしっかりと事務局が立上れば多少は解消されることと思っておりますが、代表、顧問がウガンダ入りし私自身本職の方で色々と身辺が騒がしくなりました担当している山崎毅史氏に大きな負担をかけてしまっている状況です。彼が帰って来てからのこの状況になったことは本当に助かりました。もし今の状況が去年の今頃であれば間違いなくAAAはパンクしていたのではないかと、そう思うと不思議な見えない力に守られている気がしてなりません。また、そんな中ボランティア作業に心をおかけ下さる皆様のお蔭で倉庫の方も衣類整理が進み、四月にはカンボジア、ドミニカ共和国、とコンスタントに衣類を出荷することができるのはボランティアの皆様のご地道な活動のお蔭です。紙面をお借りして改めてお礼申し上げます。誠にありがとうございます。そろそろ、一時衣類が来るのがピークを過ぎると思っておりますが、一息つく間もなく次のピークがやってくるのではと予想しています。今後とも宜しくお願いします

(事務局長山崎栄慈)

◎ウガンダでEMの事業も活動拠点となるナプトングワのセンターの方も少しづつですが順調に進んでおります。皆様を受け入れられるような施設になるよう建設も進めています。

国道から村への主要道路が破損して郡から補修依頼を受けております。ご協力お待ちしております。こちらでの活動全てが皆様のまごころによって支えられていることがダイレクターになって本当に心から感じられるようになりました。ありがとうございます。今後ともよろしくお願い致します(山崎敬充)

◎AAAニュースレター今号もウガンダからお送りします。

6月のチーム浦和のボランティア

28日/23日/22日/15日/13日/11日/10日/6日/5日
7月2日~8日

参加者渡辺茂さんの報告

ウガンダに続きカンボジアに行かせてもらいました。7月2日から8日までの中身の濃い旅でした。

木村えみ子さん、田中 親男先生、河合 瑛二さん、榎本 日佐子さん、山崎毅史さん、山崎正美さんその他多くの方々のお蔭で心に残る楽しい旅でした。カンボジアのプノンペンにある孤児院を訪問し、110人の子供たちが寝る狭い板の間を見た時は、心がい

たみました。日本からの衣料品等を手渡しできて喜んでもらえて、うれしく思いました。貧しく物はないかもしれないが、子供たちの歓迎の踊りを見せてもらい、明るい笑顔に接して、こちらのほうが、心が温かくなり、大事なものを、もらった気がしました。1450人もいるという小学校も訪問し、ロータリークラブから預かった衣料品を手渡し喜んでもらいました。全員に渡せなかったのは、心残りでした。小学生たちが、きちんとしていて、校長先生はじめ、先生方がいい教育をされていることがわかりました。オリガミスクールの子供達の歌声は最高でした。SMAPの(世界で1つだけの花)や美空ひばりの(川の流れるように)をカンボジアの子供達が、日本語で上手に歌うのを聞いて感動し心が洗われる気がしました。日本から送られた畳が敷かれ柔道場ができるそうです。、日本からカンボジアに来られ子供達に歌や日本語を教えている先生方、暑さに負けずがんばって下さい。木村さんのお陰で、カンボジアのシアヌーク殿下の弟であるシリウッド殿下の自宅に招待され、大変光栄に思いました。殿下自ら電子ピアノを演奏され、思わず、社交ダンスを習っているの、榎本さん、木村さんと、踊ってしまいました。大臣たちは、フランスに留学していたので、フランス語が堪能でした。私は、外務大臣と英語で会話しました。観光で行ったアンコールワット、アンコールトムはすばらしくメーラ文化の高さに驚きました。レリーフの技術も高い水準でじっくり時間をかけて見たいと思いました。ブンペンセントラルマーケット、スーパー、デパートも見学できました。日本国内ではポルポト政権や地雷等、負の情報ばかりでしたが、実際に見たカンボジアは、人々の明るい笑顔とたくましい生活力でした。子供達、若者も大人も生き生きとして、カンボジアの明るい未来を感じうれしく思いました。カンボジアの子供達のために、すこしでも役に立つことができるのを感謝します。

- 7月 7日 コンテナ積み込み「スリランカ向け」705個、
国際ロータリークラブ2570地区の箱も混載しました。
参加者 山崎栄慈、阿部真也、田中久夫、田中ミドリ、田口帰一、田口敏子、
田口正教、金子有一、高橋愛子、柿沼実根子、
9日 衣類整理ボランティア 38箱できました。
参加者 渡辺福子、松本綾子、中里睦子、山崎純子、榎本日佐子、山崎正美、
山崎毅史。ものすごい暑さの日でした。熊谷では37℃と報道されていました。
10日 衣類整理箱詰めボランティア
チーム浦和 寺沢久枝、柿沼実根子、田口帰一、田口敏子、肥留間清
11日 衣類整理箱詰めボランティア
チーム浦和 渡辺薫子、高橋正夫、田口帰一、田口敏子
13日 衣類整理箱詰めボランティア
チーム浦和 寺沢久枝、高橋正夫、田口帰一、田口敏子、岩井、上田
18日 衣類整理箱詰めボランティア
チーム浦和 寺沢久枝、高橋正夫、田口帰一、田口敏子、渡辺薫子
20日 衣類整理箱詰めボランティア
チームつめるやん 袋詰めを主に実施しました。気温は36℃あまりの暑さに11時頃
終了の合図をしましたが、もう少し頑張ると結局12時まで実施しました。
参加者 渡辺福子、山崎純子、山崎城之、山崎栄慈、山崎毅史、山崎智子、
山崎拓人、山崎理人
- 8月 7日 ウガンダ向けコンテナ積み込み
写真 このアルバムはCANON image GATEWAY にて作成リンクしましたクリックして
見て下さい。
参加者 マクウザ フランシス、荒木哲彦、荒木哲志、清水、池畠千枝里、伊東美希、
田中久夫、田中ミドリ、榎本日佐子、尾形喜代子、渡辺福子、北山冴香、阿部誠也、
阿部時哉、山崎純子、山崎正美、山崎毅史、山崎城之 18人
・救急車(トヨタ) 1台
・バイク 4台
・衣類箱入り 192箱
・衣類袋入り(大) 329袋
・衣類袋入り(小) 987袋
・衣装ケース 2箱
午後からは衣類整理箱詰め作業 参加者:田口帰一、敏子、寺沢夫妻、山元奈緒、
石川 真、渡辺薫子 6人
9日 衣類整理ボランティア
写真 このアルバムはCANON image GATEWAY にて作成リンクしましたクリックして

見て下さい。

30度を超える猛暑でした。中里睦子、山崎純子、山崎正美、山崎毅史、山崎城之、田中久夫、田中ミドリ、榎本日佐子、袴田香菜、岩崎彩佳、R&Lの5人(山下英明、井上明日香、赤松卓哉、水沢剛、中尾安寿水) 15人、箱詰めは101箱できました。続くコンテナ積み込みでようやく倉庫に隙が出てきましたが、連日衣類が送られてきています。次回の積み込みはドミニカです。

10日 チーム浦和 高橋正夫、寺沢久枝、田口帰一、田口敏子、渡辺薫子、肥留間清

11日 チーム浦和 高橋正夫、田口帰一、田口敏子、渡辺薫子、比留間清、喜田詮子

17日 ~18日 主催:埼玉県社会福祉協議会 埼玉県ボランティアセンター 共催:さいたま市社会福祉協議会 参加者33名 CANON image GATEWAY 写真アルバム

「国際支援ボランティアしてみませんか?」~国際支援物資の仕分けや外国に送りだしをした後、物資が現地ですどのように役立てられているかを学びます。どなたでもできる体験ですのでみんなで一緒に体験しましょ♪~AAAの作業体験とフォーラムで学んでいただきました。

第1日衣類整理箱詰め、第2日「石橋勝のボランティア21~地球家族AAA~」(テレビ大阪全国放送分)、「まごころの衣類は~」ビデオ上映、「私達の活動」田口帰一業務部長、「地球家族」講演田中親男先生、昼食中に質問があつて「現地のお話」山崎純子代表、衣類整理箱詰め体験、グループワーク「国際ボランティアに参加して」をテーマに6人制の練り合いを実施、グループ代表が発表主催者の高木氏より総評があり、「グローバルリサイクルの理念」山崎城之顧問のお話で終了。参加者全員が後片付けを実施。

20日 衣類整理箱詰ボランティア

残暑とはいえ30度を超える暑さでしたが、台風15号の余波で風が強かったために作業的にはいづらか楽でした。山崎純子、山崎正美、山崎毅史、山崎城之、榎本日佐子、尾形喜代子、渡辺福子、牧野、山崎栄慈、山崎理人、北山冴香、山崎拓人、フロームエーを見て来てくれた緒方、秋山のお二人箱45箱で来ました。この日三菱新システムで制服が廃止されたので、世界で活かしていただきたいと申し出があり、伊勢丹の外商部の担当の方が新宿から届けてくれました。丁度定例日で皆さん居りましたので、贈呈式をさせていただきました。

21日 チーム浦和の衣類整理 気温は高かったのですが風が強いので作業がはかどりました。午前10時~午後3時まで実施 参加者:庄田、寺沢久枝、寺沢、田口帰一、田口敏子、渡辺薫子

31日 平成16年度彩の国さいたま国際協力基金助成金交付決定通知書交付及び説明会 助成金交付

9月 7日 衣類整理ボランティア

このアルバムはCANON image GATEWAY にて作成リンクしましたクリックして見て下さい。

ちーむつめるやん定例衣類整理 残暑厳しいでも風がありました。台風18号が九州へ上陸、広い範囲で地震も...そんな中ボランティアに参加してくれて本当にご喜ぶ様です!

参加者は 渡辺茂、前川、浅井登茂子、榎本日佐子、田中久夫、田中ミドリ、山崎正美、山崎智子、山崎拓人、山崎理人、山崎純子、山崎毅史、山崎城之の皆さん

9日 衣類整理ボランティア

20日 衣類整理箱詰ボランティア

28日 ビンセント・センビジャ マサカ県知事、ポキノAAA-Uコーディネーター 来日

埼玉県国際交流協会表敬訪問、専務理事、事務局長、大西氏

29日 日光見物、黒羽ライスラインとセンター見学、農業機構見学

30日 浅草小学校訪問、駐日ウガンダ大使館訪問、東京見物

10月 1日 スリランカ向けコンテナ積込 写真ニュース

3日 山崎敬充ウガンダダイレクター結婚

4日 EM農場見学

5日 ロータークラブガバナー表敬訪問 午後 県知事帰国(アメリカで会議してから)

6日 国会、NHK、六本木ヒルズ見学、夜はクルーザーで東京湾の夜景を楽しむ。

7日 衣類整理ボランティア

この写真はCANON image GATEWAY にて作成リンクしましたクリックして見て下さい。

ちーむつめるやん 山崎毅史、渡辺福子、松本綾子、山崎敬充、ポキノ、山崎純子、山崎正美、山崎美江、山崎城之、山崎智子、榎本日佐子、山崎拓人、山崎理人

- の皆さんでした。
- 9日 スリランカへコンテナ積み出荷&衣類整理ボランティア 台風第22号が接近し各地に大雨、豪雨の中積みが行われた。
参加者:山崎毅史、山崎正美、山崎栄慈、山崎敬充、山崎美江、阿部誠也、阿部時哉、田中久夫、榎本日佐子、山崎城之、山崎純子、ポキノ皆様ご喜勞様でした。
- 10日 カンボジアからお礼の手紙
- 20日 チームつめるやん 田中やす子、吉田照子、榎本日佐子、山崎純子、山崎城之、山崎毅史、山崎正美、山崎智子、山崎敬充、山崎美江

10月の衣類整理箱詰ボランティアチーム浦和の活動は10日9人、11日15人、18日3人、21日4人、28日7人、29日2人、30日5人
メンバー田口帰一、田口敏子、渡辺薫子、高橋正夫、柿沼実根子、寺沢久代、高橋愛子、喜田詮子、比留間清、庄田、中島ますみ、上田道野、吉田美幸、小林智江、小林祐希、岩井

- 11月 1日 AAAニュースレター29号完成
- 3日 AAAニュースレター発送
- 7日 彩の国国際フェア2004出展 埼玉県のNGOの祭典 出展 さいたま新都心ケヤキ広場にて
EM製品販売とEM説明会、アフリカ物産即売、フリマ品販売
EM米のとぎ汁と活性液 80本無料配布
チラシ配布量 300人位に配布
ボランティア参加者 渡辺福子、富田笑子、榎本日佐子、山崎純子、山崎城之、山崎栄慈、山崎毅史、山崎正美、山崎智子、阿部誠也、阿部時哉、橋本成城、高橋正夫 山崎拓人、山崎理人。
- 9日 衣類整理箱詰めボランティア
- 20日 午前中 衣類整理箱詰ボランティア
午後1時~ 定例EMセミナーぼかしづくり 米のとぎ汁発酵液、EM活性液の作り方を実地で勉強、その後ビデオ鑑賞、体験発座談会を行いました。
- 12月 4日 新潟中部地震現場視察 アルバム
- 5日 午前中 衣類整理箱詰ボランティア チームつめるやんアルバム
午後 EMセミナー EMぼかしづくり、EM活性液づくり体験とビデオ観賞
- 7日 コンテナ積みインドネシア方面 ボランティア参加者 榎本日佐子、山崎純子、山崎城之、山崎栄慈、山崎毅史、山崎正美、阿部誠也、阿部時哉、山崎拓人、山崎理人。
- 9日 在日ケニア大使館表敬訪問
- 14日 ネパール向けコンテナ積み 快晴に恵まれて積みが行なわれました。
ボランティア参加者 山崎毅史、山崎栄慈、渡辺福子、田口帰一、田口敏子、田口正教、田口祥子、高橋愛子、野々山仁、田口直子、山崎正美、山崎城之、山崎純子、山崎拓人、山崎理人、託児係をして下さった馬場さん有難うございました。今日が出産予定日だったそうです…。
12日に結婚された田口正教、祥子ご夫妻が新婚旅行出発の今日寸暇を利用して積込みに来て下さった。感激!大感謝! 04年12月14日衣類積みアルバム
- 18日 スリランカ向け積み 04年12月18日衣類積みアルバム
- 20日 午前中 衣類整理箱詰ボランティアとAAA会報(第30号)発送作業
トヨタ部品埼玉共販(株)より搬入30箱 贈呈式の 写真
取締役総務部長清水博さんからAAA事業部長山崎毅史さんへまごころと共に手渡された。
午後 EMセミナー活性液づくり、EMぼかしづくり
午後 蓮田市立平野中学校生徒会より衣類21箱搬入 贈呈式の 写真
持参して下さったのは生徒会長 柴山直樹と役員 福原俊代 林 陵平 小林周平 斉藤春香 上村美沙子 大川慶造の皆さんと生徒会顧問 武田文子 青木知子 長瀬美代子の先生でした。
- 25日 プールにEM投入奈良県天理小学校 投入写真
- 26日 奈良メサイア合掌の会 チャリティーコンサート
奈良県橿原市かしはら万葉ホールにて、2004年メサイア奈良公演が5周年を迎えた感動と共に開催された。毎年チャリティーの収益金をAAAを通してURYUの活動に役立てさせて頂いている。今年も150,117円のご寄付をお預かりした。このご寄付はケ

ニア共和国ボンド県ランブグ村の診療所スタッフハウス建設に役立てさせて頂く予定。URYUは開演前に代表小崎浩司氏より続いての支援に対する御礼とスライドショーを用いて活動の報告、これからの更なる支援のお願いをした。
ボランティア参加者大矢邦一とヘルパーさん、寺田睦美、阪本智恵、阪本いくえ、福本雅彦、福本道子、小崎浩司の皆さんご喜勞様でした。
事務局の野田次男さん有難うございました！